

列席・中野実・所澤潤

○東京大学史料の保存に関する委員会委員及び幹事の交代

平成元年4月1日付

委員(第5条第3号) 瀧澤博三前事務局長
から青柳徹事務局長

委員(第5条第4号) 江島恵教文学部教授
から青柳正規文学部助教授

幹事(第8条) 日下弘前庶務部長から横澤
義雄庶務部長

幹事(第8条) 伊藤才一郎前経理部長から
森谷俊直経理部長

平成元年7月1日付

委員(第5条第5号) 益田宗史料編纂所教
授再任

東京大学史料室彙報

昭和64年1月より平成元年9月末までの東京大
学史料室の事業概要は次の通りである。

〈組織沿革概要〉

- 平成元年3月10日金、常勤室員(事務官定員)
一名着任。室員交代のための移行措置として
常勤室員二名、非常勤室員一名となる。
- 平成元年4月1日土、常勤室員(事務官定員)

一名、非常勤室員(教務補佐員)一名の体制
となる。

- 平成元年9月6日水、4階昇り口に「東京大
学史料室」の木製標札をかける。

〈資料収集・調査活動〉

○史料寄託・受贈等

- 平成元年4月17日月、佐藤謙太郎氏の明治32
年東京帝国大学法科大学卒業証書寄託
- 平成元年4月25日火、肥田七郎氏の明治31年
東京帝国大学医科大学卒業証書他七件寄託

○学内資料の調査

- 2月16日木、17日金、旧外事掛資料のうち、
東京帝国大学英文一覽整理開始(担当所澤潤)
- 2月20日月、22日水、総合図書館にて欧文一
覽所蔵状況調査(担当所澤潤)
- 3月27日月、総合図書館東大附属図書館史資
料を調査(担当鈴木敏行・所澤潤)

○図書受贈(図書名は『東京大学史料室
ニュース』に掲載)

- 昭和64年1月〜平成元年3月 一三点
- 平成元年4月〜平成元年9月 五九点

○入手図書(学内刊行物以外の無償頒布物)

- 昭和64年1月〜平成元年3月 二点
- 平成元年4月〜平成元年9月 〇点

○ファイル資料

- 昭和64年1月〜平成元年3月 七点
- 平成元年4月〜平成元年9月 二〇点

○購入図書

- 昭和64年1月〜平成元年3月 三点
- 新刊 〇点
- 古書 〇点

- 平成元年4月〜平成元年9月 七点
- 新刊 七点
- 古書 一点

〈資料公開業務〉

○研究活動

- 『東京大学史紀要』(年一回発行)
編集・東京大学史料の保存に関する委員会
発行・東京大学史料室
第七号 一九八九年三月付発行
B5判一四二頁。六〇〇部印刷。抜
刷五〇部印刷

担当・阪口豊(理学部教授)

所澤潤

○広報活動

- 『東京大学史料室ニュース』(年二回発行)
第三号 一九八九年四月一〇日付発行
B5判八頁。千部印刷。
担当・武田展雄(先端科学技術研究

センター助教授)
所澤潤

○部局沿革史作成協力

- 工学部附属総合試験所五〇周年記念誌(進行中)

○見学

- 平成元年2月4日土、東京都文京区立誠之小
学校教諭二名、同校の文書館である誠之史料
館運営の参考のため来室見学

- 平成元年4月27日木、全国歴史資料保存利用
機関連絡協議会関東部会第54回月例研究会参
加者一八名来室見学

- 平成元年6月15日木、関西大学より史料保存
参考のため二名来室見学

- 平成元年6月27日火、東京都教育研究所より
東京都教育史編纂準備のため二名来室見学

- 平成元年7月18日火、名古屋大学より同大学
五十年史編纂参考のため二名来室見学

- 平成元年8月18日金、韓国釜山商高歴史編纂
委員会より同高百年史編纂参考のため一名来
室見学

○閲覧

- 昭和64年1月4日〜平成元年2月28日
閲覧者数延一〇名(学内四名、学外六名)
件名

震災前の東京帝国大学医学部関係写真(埼玉
県広報テレビ番組「ふるさとに拾う」No.464「化
学への情熱」女性農学博士辻村みちよの生涯
「」に使用)加藤弘之著「最新論」の原本/
東京高等師範学校所蔵教育勅語肉筆謄本が戦
後東京大学に移管されたという説に関する調
査のため、(東京)帝国大学に下賜された教育
勅語肉筆謄本調査閲覧/大正15年の井上哲次
郎不敬事件について巽軒日記閲覧/神戸新聞
社創業者松方幸次郎の明治16年11月24日東京
大学退学関係調査

- 平成元年3月1日〜5月31日
閲覧者数延一六名(学内八名、学外八名)
件名

史料編纂所関係資料(姫路文学資料館開館の
ため)/憲法関係資料(NHKスペシャルテレ
ビ番組「明治憲法100年」に使用)/加藤弘之文
書/近代の日本教育史学術用語の英訳語の標
準化調査のため本学英文一覽/NHK番組製
作基礎取材のためクロニクルズ・オブ・アメ
リカのフィルム解説/著作権法制関係文書の
所在確認のため開成所事務文書

- 平成元年6月1日〜9月30日
閲覧者数延二七名(学内二一名、学外六名)
件名

一九六八〜一九六九年の全共闘運動記録保存
のため当時のビラ/加藤弘之著「最新論」の
原本/安田講堂便殿壁面調査のため内田祥三

資料/外国人教師バルトン調査のため「東京
大学百年史」/釜山商高百年史編纂参考のため
「東京大学百年史」/史料編纂所沿革調査のた
め関係資料/外国人教師ケーベルの写真確認
のため「ケーベル先生追悼号」/戦時下教育調
査のため「日本諸学振興委員会研究報告第十
八編」/東京帝国大学が朝鮮総督府に大正十年
返還したと思われる墓碑の調査のため往復文
書

○照会

- 昭和64年1月4日〜平成元年2月28日
摘録
(学内事務)

「東京大学百年史」理学部部局史編集の際の史
料の所蔵は(理学部管理)/「東京大学百年史」
掲載写真の転載許可に関して(通史編は東京
大学史料室室長の許可、部局編は各部局の
許可)/御殿下グランドは何時できたか、その
名称は何時から使われたか/学内刊行物の収
集は図書室がやるか東京大学史料室がやる
か(当分分担はできない)

(その他学内、及び一般)
第二次大戦直後東京大学内に設けられた教育
制度研究委員会各委員の経歴/名誉教授柿内
三郎は「さむろう」と読むのか(履歴書には
「Samuro」を訂正して、mをbに変えてあ

り、本当のところは不明)/一高、帝国大学に

下賜された教育勅語肉筆謄本の所在（帝國大学下賜のものは本室）／東京都公文書館所蔵『府内誌残編』一〜九の末尾に明治42年3月帝國大学図書館本を謄すとあるが、国書総目録には載っていない。震災焼失と思われるが如何〔本学附属図書館に記録なく未詳〕／教育学部創設は何時か（昭和24年5月31日）／明治16年11月24日退学者中に神戸新聞社創業者松方幸次郎が居るか（予備門本賢退学者中にいる。退学は11月2日）

●平成元年3月1日〜5月31日

摘録

（学内事務）

安田講堂での卒業式は何時が最後か（昭和42年3月）／『東京大学百年史 通史二』に掲載されている「東京帝国大学構内及び附属航空研究所火災報告」の所蔵の有無（内田祥三文書中にあり）／全国大学教授連合の解散時期（不明）

（その他学内、及び一般）

小石川植物園内の標本館（旧医学部）に関する資料はないか／大学予備門とは何か／昭和15年5月航空学科で海防義会寄贈による大風洞の贈呈式が行われたが海防義会とは／明治42年の評議会の記録を見ることは可能か（本室の管轄外）／安田講堂に機動隊が入ったのは何時か（昭和44年1月）

●平成元年6月1日〜9月30日

摘録

（学内事務）

関東大震災の東京罹災者情報局発行の延焼地図の所蔵の有無（不明）／安田講堂内のシユタインウエイのグラントピアノの由来／東京大学の英訳 The University of Tokyo の由来は何時から付けたか

（その他学内、及び一般）

学徒出陣の写真の有無（あり、貸出不可）／大正2年文部省がイエスズ会について諮問している回答文書はあるか（不明）／東京大学法理文三学部第八年報の所蔵の有無（あり）／浜尾新の直筆の所蔵の有無（あり）

○小目録作成

番外

「栗田寛関係史料の概要」（担当中野実・文学部国史学科助手季武嘉也）

「公的に刊行された学内沿革史目録（仮）」（担当所澤潤）

「欧文一覧所蔵調査（仮目録）」（担当所澤潤）

〈人事〉

○常勤室員

●平成元年3月10日〜現在

鈴木敏行（広報企画課事務官）

●平成元年3月31日退職

所澤潤（教育学部助手・併任広報企画課事務官）

○非常勤室員

●平成元年3月31日退職

中野実（教務補佐員、広報企画課勤務、週一日勤務）

●平成元年4月1日〜現在

所澤潤（教務補佐員、広報企画課勤務、週一日勤務）

〈その他〉

○備品管理換

●書架 法学部より

●書架 大型計算機センターより

●ワードプロセッサー 教育学部より

○施設備品配置変更

●昭和64年1月6日金、大型計算機センターより管理換えの書架等を搬入

●平成元年2月9日木、大型計算機センターより管理換えの書架を搬入

●平成元年4月25日火、法学部より管理換えの書架を搬入

●平成元年5月25日木、同右書架の組み立て

○その他

●平成元年7月1日土、駒場農学校文書等の燻蒸を史料編纂所にて実施

〈訂正〉

○『東京大学史紀要』七号

●一三五頁一段目一二行

誤……規則が第五

正……規則が第六

●一三六頁一段目二三行

誤……昭和63年4月

正……昭和63年3月

●同一四行

誤……昭和63年1月

正……昭和63年4月

●一四〇頁三段目二二行以下

誤……昭和62年4月28日第五回東京大学史料

の保存に関する委員会決定

正……昭和62年6月30日第六回東京大学史料

の保存に関する委員会決定

○『東京大学史史料目録』1（昭和52年2月）

●三頁年表中冒頭弘化4年の部分を左記のよう

に訂正

「12月23日生、越前国南条郡武生、渡辺静庵

の長男、母は萬野、性は藤原、諱は龔、字は

伯建、幼名孝一郎、号は浩堂、医名は静寿、

（以下削除）

○『東京大学史史料目録』8（昭和56年3月）

●一二頁年表中冒頭弘化4年の部分を、右の目

録1と同様に訂正

編集後記

予定された原稿すべてを掲載して第八号を完成することができた。執筆者の先生方の御協力に深謝する次第である。

先日の東京大学史料の保存に関する委員会の席で寺崎委員より、本紀要が史料室によって引き続き刊行されることになったことが外部から驚異の目で見られているとの話が披露された。携わるものとして大変心強い思いであった。私は本年三月をもって定年退官するが、本学の最後の二年間を、本紀要の編集という有意義な仕事をお手伝いして過せたことを大変幸せに思っている。

来年度からは新しい編集者によって一層よいものがつくられることであろう。史料室と紀要の益々の発展を心から願ってやまない。

（阪口 豊）